

オンライン開催

広島大学病院 がん医療従事者研修会

広島大学病院では、がん診療の質の向上及び専門的な知識の普及を目的とし、がん医療に携わる医師・薬剤師・看護師等を対象とした研修を以下のとおり開催いたします。

講演「外来化学療法室における課題 血管外漏出や多職種連携の視点から」

広島大学病院 看護部

がん化学療法看護認定看護師 清本美由紀 先生

がん化学療法を行う場は、入院から外来や在宅へ移行しており、外来化学療法室を利用する患者数は増加傾向にあります。外来化学療法では、医療者が直接患者に提供できるケアには時間的に限りがあり、治療による苦痛を少なくし、患者が安心して予定通りに治療を継続できるようにセルフケアを含めた副作用予防対策や精神的支援、レジメンにおけるリスクアセスメントが必要となります。看護師は、これらをふまえてケアや多職種との連携をおこなっています。今回は、発症するとがん患者の心身の苦痛を増強するだけでなく、治療の継続にも影響を及ぼしかねない「血管外漏出」を中心に外来化学療法室における課題を一緒に考えていければと思います。

-略 歴- 2010年 愛知県立大学看護実践センター認定看護師教育課程「がん化学療法看護」受講
2011年 認定看護師「がん化学療法看護師」取得

-職 歴- 1999年 広島大学病院「病棟」勤務（血液内科、乳腺外科、産婦人科等）
2011年 広島大学病院「化学療法室」勤務
がん化学療法委員会 委員
AYA世代がんボード メンバー
現在に至る



開催日時 ▶ 2023年9月1日(金)18:30～20:00(予定)

開催方法 ▶ Zoomによるオンライン受講

【申込方法】

QRコードを読み取り、申込フォームに入力後送信してください

※申込締切 8月23日(水) 17:00 要申込



お問い合わせ先：広島大学病院 医療支援グループ TEL 082-257-5934

(主催) 広島大学病院 (都道府県がん診療連携拠点病院)

(共催) 中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム/広島大学次世代のがんプロフェッショナル養成プラン